



哲学

※【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

1. 哲学とは

哲学とは、philosophy の訳語。ギリシャ語の philosophia に由来し、「sophia(智)を philein(愛する)」という意。西周が賢哲を愛し希求する意味で「希哲学」の訳語を造語したが、のち「哲学」に改めた。

1. 世界・人生などの根本原理を追求する学問。古代ギリシャでは学問一般として自然を含む多くの対象を包括していたが、のち諸学が分化・独立することによって、その対象領域が限定されていった。しかし、知識の体系として諸学の根底をなすという性格は常に失われない。認識論・論理学・存在論・美学などの領域を含む。

2. 各人の経験に基づく人生観や世界観。また、物事を統一的に把握する理念。〔『デジタル大辞泉』より引用〕

以上のように「哲学」の語はおよそ「学問領域」「価値観や世界観」の2通りを指す。

2. 分類 (NDC9版)

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野	分類番号	分野
100	哲学	124	先秦思想・諸子百家
110	哲学各論	125	中世思想・近代思想
111	形而上学・存在論	126	インド哲学・バラモン教
112	自然哲学・宇宙論	129	その他のアジア・アラブ哲学
113	人生観・世界観	130	西洋哲学
114	人間学	131	古代哲学
115	認識論	132	中世哲学
116	論理学・弁証法[弁証法的論理学] 方法論	133	近代哲学
117	価値哲学	134	ドイツ・オーストリア哲学
118	文化哲学・技術哲学	135	フランス・オランダ哲学
120	東洋思想	136	スペイン・ポルトガル哲学
121	日本思想	137	イタリア哲学
122	中国思想・中国哲学	138	ロシア哲学
123	経書	139	その他の哲学

3. 辞典・事典

『思想哲学書総覧：2001-2010』 【103.1/N 71/1~2 品川 2F 参考図書】

日外アソシエーツ編集・発行，2011

2001~2010年の間に日本国内で刊行された、思想・哲学に関する図書 10,521 点を収録した目録。分野別に基本的な書誌事項・要旨・目次情報などを記載している。

『哲学・思想翻訳語事典』 増補版【103.3/Te86 品川 1F 図書】

石塚正英，柴田隆行監修，論創社，2013

哲学用語はヨーロッパの言語を由来とするものが多く、本書では原語と翻訳語の違いを確認できる。

『カラー図解 哲学事典』 【102/Ku 48 品川 1F 図書】

ペーター・クンツマン[ほか] 著，忽那敬三訳，共立出版，2010

哲学の歴史的な展開がわかる事典。左ページは哲学的な思想が絵や図で表されており、右ページにはその解説が記されている。順を追って読み進めることで、哲学史の知見が広げられる 1 冊。



4.入門書

『生きる』、『私』であること』、『心』、『行動する』、『楽しむ』、『働く』哲学はじめの一步 (全6巻)

【104/R 47/1~4 品川 2F 学修支援 (哲学) /品川 1F 図書】 立正大学文学部哲学科編, 春風社, 2015
 (『楽しむ』、『働く』のみ【104/R 47 品川 1F 図書】)

立正大学哲学科の教員による、哲学を志す人への手引き。6つのテーマに分かれ、哲学が扱うさまざまな問題を紹介している。1冊100頁ほどなので簡単に読むことができ、どの項目も初心者に分かりやすい工夫がなされている。巻末の著者紹介では其々おすすめの1冊も紹介している。

『哲学入門』 【101/R89 品川 1F 文庫】

バートランド・ラッセル著, 高村夏輝訳, 筑摩書房, 2005

哲学の初心者が最初に直面する問題を中心にまとめられている。注釈や解説が充実しているだけでなく、訳語が大変読みやすい。

『哲学大図鑑』 【102/B 82 品川 1F 図書】

ウィル・バッキンガム著, 小須田健訳, 三省堂, 2012

他の専門書を読み、分からないことがあった時だけでなく、本書を読むことで多くを学ぶことができる。イメージが難しい哲学の諸問題を、図や写真を多く用いて詳しく解説している。哲学者やその思想背景についてまで記載されており、巻末には人名録が付いている。

『お厚いのがお好き?』 【019/O-11 品川 1F 図書】

フジテレビ出版編, 扶桑社, 2004

誰もが名前だけは知っている分厚い名著を、身近な喩えや時事問題を用いて簡単に紹介する。難しそうな哲学書を読む前に読みたい1冊。

『これからの「正義」の話をしよう:いまを生き延びるための哲学』 【311.1/Sa62 品川 2F 学修支援 (文学) /品川 B1 図書】 マイケル・サンデル著, 鬼澤忍訳, 早川書房, 2011

哲学への認識を覆したNHKの番組『ハーバード白熱教室「JUSTICE」』をまとめ、「正義」について様々な角度から検証している。AV資料コーナーには講義のDVDもある。【311.1/DVD/11-0010 品川 2F AV】

5.雑誌

『立正大学哲学会紀要』 【R-1/124 品川 B3 紀要 (新刊・目次は3F立正大学紀要コーナー)】

立正大学哲学会

立正大学哲学会員の研究論文を収載する機関誌。哲学の全領域にわたる内容を対象としている。

『哲学』 【105/23 品川 B3 雑誌 (新刊は3F開架雑誌コーナー)】

日本哲学会

日本哲学会によるシンポジウム、共同討議、応募論文などが収録されている。

『哲学雑誌』 【105/5 品川 B3 雑誌 (新刊は3F開架雑誌コーナー)】

哲学会、有斐閣

哲学講演、研究論文、公募論文などが収録されている。

6.インターネット (学会サイト等)

『日本哲学会』 <http://philosophy-japan.org/>

哲学研究の発展と研究者間の活発な交流を目的とし、研究・教育と、現代社会における哲学の役割を討議している。研究成果は機関誌『哲学』にまとめられる。リンク集から海外を含む雑誌・文献検索、関連学会、辞典・情報サイト等を参照できる。